

株式会社

中根砂利店

Nakane Gravel Store

環境経営レポート

私たちは、地域と地球の
環境に配慮した事業者です



®環境省

エコアクション21

認証番号 0014572

2024年度

対象期間：2024年9月～2025年8月

発行日：2025年11月1日

改訂発行日：2026年6月22日

次回発行予定：2026年10月

〒974-8261

福島県いわき市植田町本町1-3-7

TEL：0246-62-5161

FAX：0246-62-5163

<https://nakane-jariten.co.jp/>

目 次

1. 目次	P 2
2. 組織の概要・対象範囲	P 3
3. 対象範囲	P3
4. 廃棄物施設等の状況	P4～5
4. 環境経営方針	P6
5. 環境経営目標（中長期目標・次年度目標含む）	P7
6. 環境経営計画（実績評価・次年度計画含む）	P8
7. 実施体制	P9
8. 環境経営目標の実績・評価（第一四半期）	P10～13
9. 環境関連法規などの順守状況及び 違反、訴訟などの有無	P14
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P15
11. 今までの取組と環境経営計画に基づく取組内容	P16～17

組 織 概 要

- ◆ 会社名 株式会社 中根砂利店
- ◆ 代表者 代表取締役 玄 昶徳
- ◆ 所在地 《本社》
〒974-8261 福島県いわき市植田町本町 1-3-7
《法田プラント（産業廃棄物処理施設）》
〒974-8241 福島県いわき市山田町西川原 134-3
《遠野砂利採取場》
〒972-0252 福島県いわき市遠野町根本字川畑 177-1
- ◆ 設立年月日 昭和31年9月15日
- ◆ 資本金 1, 0 0 0 万円
- ◆ 従業員数 11名 （2025年11月1日現在）
- ◆ 事業規模 2024年度販売額 159百万円
- ◆ 連絡先 環境管理責任者 菊池 大介
TEL：0 2 4 6 - 6 2 - 5 1 6 1
FAX：0 2 4 6 - 6 2 - 5 1 6 3
メールアドレス：nakanezyari_kikuchi@outlook.jp

対象範囲等(全組織・全事業活動)

- ◆ 対象範囲 ・ 山砂採取・加工販売、産業廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物中間処理業
- ◆ 各種許可（廃棄物関連許可は別途記載）
 - ・ 砂利採取許可
 - ・ 砂利洗浄許可
 - ・ 有料職業紹介事業許可：07-ユ-300303
 - ・ 労働者派遣事業許可：派07-300709

廃棄物施設等の状況

◆ 収集運搬

【許可の内容】

- ・ 産業廃棄物収集運搬業：第09400032588号
 - ・ 許可年月日：令和7年8月4日
 - ・ 許可有効期間：令和12年7月22日
 - ・ 事業計画概要：収集運搬（積替え及び保管行為を含まない。）
 - ・ 産業廃棄物の種類（3種類）
 - ①燃え殻（石炭燃え殻及び廃流動砂に限る。）
 - ②ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず
 - ③がれき類
- （これらのうち、特別管理産業廃棄物であるもの、自動車など破砕物、廃容器包装（固形状又は液状の物の容器又は包装であって不要物であるものをいう。）、廃ブラウン管（側面部に限る。）、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。）
- ・ 積替え許可の有無：無し

【運搬車両】

- ・ 運搬車両：（1）大型トラック 2台 （2）中型トラック1台
（積み替え保管施設は保有していない）

◆ 処分

【許可の内容】

- ・ 産業廃棄物処分業：第09420032588号
 - ・ 許可年月日：令和7年8月12日
 - ・ 許可有効期限：令和12年7月22日
 - ・ 事業の区分：中間処理（破砕）
 - ・ 産業廃棄物の種類（3種類）
 - ①燃え殻（石炭燃え殻及び廃流動砂に限る。）
 - ②ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず
 - ③がれき類
- （これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。）

廃棄物施設等の状況

◆ 処理工程

【中間処理施設の種類】

- ・ がれき類の破碎施設

【処理する廃棄物の種類】

- ・ 燃えがら、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・ がれき類

【処理能力】

- ・ 60 t/h (480 t/day)

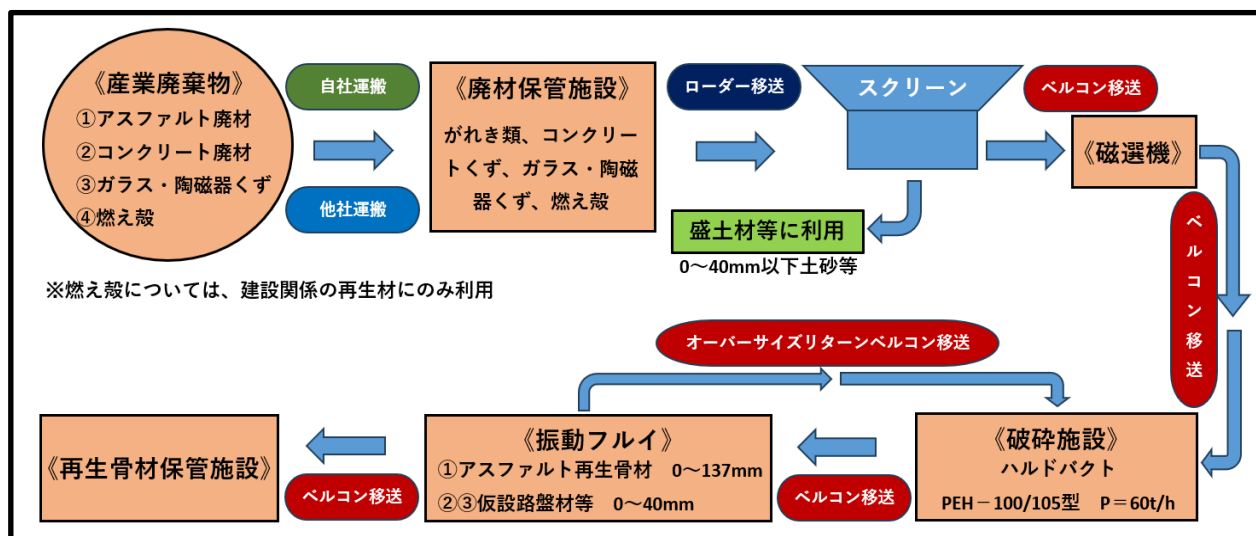
【処理方式】

- ・ 破碎処理方式

【設置年月日】

- ・ 平成13年5月1日（使用届出）

◆ 破碎処理工程概要図



◆ 処理実績

【収集運搬量】 2,642.25 t

・ コンクリート : 281.73 t アスファルト : 110.52 t 残土 : 2,250.0 t

【中間処理量】 13,608.62 t

・ コンクリート : 7,548.69 t アスファルト : 6,059.93 t

環境経営方針

《環境理念》

株式会社中根砂利店は、昭和31年に設立し、地域の方々の支えのもと成長して参りました。山砂採取販売、産業廃棄物の収集運搬、受託した廃棄物の再資源化を行い、循環型社会の構築に貢献して参りました。

また、当社は土木や建設工事に欠かせない高品質な砂、再生骨材の資材供給に特化した専門企業です。

事業の運営に際しては、化石燃料の使用により環境に負荷を与えることを認識し、地球環境の保全と地域環境改善に寄与いたします。

また、環境と事業の共存を基本に、環境マネジメントシステムと全員活動によるパフォーマンスの継続的な改善に努めます。

《環境指針》

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減するために、下記の項目を重点的に取り組みます。
 - (1) 重機の使用やトラックによる運搬作業に於いて、省エネルギーに取組み、二酸化炭素の排出量削減をいたします。
 - (2) 受託した廃棄物の徹底分別とリサイクル及び商品化により、廃棄物の排出削減を行います。
 - (3) 水の有効利用によって、上水使用量を削減いたします。
 - (4) 化学物質のリスクアセスメントにより、負荷低減への見直しと適正管理をいたします。
2. 環境に関する法規制及び、当社が同意したステークホルダーからの要求事項を順守いたします。
3. 地域の環境保全に向けた施策に協力し、自主的に美化活動を行います。
4. この環境経営方針は、全従業員へ周知すると共に、一般に公開いたします。

制定日 2024年8月29日

株式会社 中根砂利店

代表取締役 玄 昶徳

環境経営目標(次年目標含む)

作成 2024/9/1

改訂 2025/10/2

承認	確認	作成
玄	平田	後藤

《2024年度及び中長期環境経営目標》

※基準年比毎年1%削減

目標項目	基準年	単位	中長期目標		
	2023年度		2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量	378	t	374	370	367
電力使用量	135,134	kWh	133,783	132,431	131,080
CO2	65.0	t	64.4	63.7	63.1
ガソリン使用量	3,737	ℓ	3,700	3,662	3,625
CO2	8.67	t	8.58	8.50	8.41
軽油使用量	117,318	ℓ	116,145	114,972	113,798
CO2	302.68	t	299.7	296.6	293.6
灯油使用量	414	ℓ	410	406	402
CO2	1.03	t	1.02	1.01	1.00
廃棄物の削減	2.557	t	2.531	2.506	2.480
※1 一般廃棄物(2024年度データ)	0.282	t	0.282	0.279	0.276
産業廃棄物	2.275	t	2.252	2.230	2.207
受託廃棄物リサイクル率	100	%	100	100	100
※2 水使用量の削減	22	m³	21.8	29	28.7
化学物質の適正管理	—		SDS整備・リスクアセスメント・適正管理		
地域環境保全活動	1	回	2	2	2

※1. 一般廃棄物は、2024年度はデータ取り期間とし、2025年度より削減目標の管理とする。

※2. 水使用量目標は、2025年度より見直し値としている。

《2023年度環境負荷実績》

負荷項目	実績値	単位	CO2排出量 (t)		
二酸化炭素排出量	378	t	二酸化炭素合計	378	比率
電力使用量	135,134	kWh	電力	65	17.3%
ガソリン使用量	3,737	ℓ	ガソリン	8.67	2.3%
軽油使用量	117,318	ℓ	軽油	302.7	80.1%
灯油使用量	414	ℓ	灯油(燃料)	1.03	0.3%
廃棄物排出量	2.28	t			
一般廃棄物	0.00	t			
産業廃棄物	2.275	t			
受託した産業廃棄物	14,308	t			
受託廃棄物リサイクル率	100	%			
水使用量の削減	22	m³			
化学物質の使用量	0.0	t			

※電力の二酸化炭素排出係数は、令和4年度東北電力(株)の調整後排出係数0.483kg-CO2/kWhを使用。

環境経営計画(実績評価・次年度計画含む)

作成：2024/9/1

評価：2025/10/2

承認	確認	作成
玄	平田	後藤

管理項目		施策・取り組み内容	責任者	日程	実績・評価	次年度計画
二酸化炭素排出量削減	電力使用量	フィルター清掃 1回/年	蛭田	12月	◎	継続
		モーターの定期点検	蛭田	毎月	◎	継続
		エアコンフィルター清掃 2回/年	渡辺・菊池	12月・6月	◎	継続
		室外機へ日よけ設置（4台）	渡辺・菊池	9月	◎	完了
		事務所照明のLED化計画	平田	—	—	実施計画
		屋外照明灯のLED化計画	平田	—	—	実施計画
		省エネ診断の受審	平田	—	—	実施計画
	ガソリン使用量	エコドライブ教育	平田	11月	◎	継続
		空気圧の点検（交換時）1号車	平田	12月・4月	◎	継続
	軽油使用量	省燃費運転マニュアルの教育	平田	3月	◎	継続
		ダンプのエコドライブ教育	平田	3月	◎	継続
灯油使用量	灯油ストーブの使用時間見直し	後藤	12月	◎	完了	
廃棄物	管理	廃棄物排出場所の整備	平田	12月	◎	継続
		廃棄物処理フロー作成	平田	11月	◎	見直し
		分別ルール掲示（排出場所掲示）	平田	1月	◎	見直し
	一般廃棄物	裏紙の使用ルール化	後藤	11月	◎	完了
		マイカップ・ボトル携帯の啓発	後藤	11月	◎	継続
		コーヒークップ繰り返し使用ルール化	後藤	11月	◎	継続
水量使用	蛇口対応	節水啓発ステッカー掲示	後藤	4月	◎	完了
		バルブ絞り込み・節水コマ設置	菊池	4月	◎	第二段
化学物質	適正管理	SDS入手・台帳化	平田	9月	◎	新規継続
		化学物質リスクアセスメント	平田	9月	◎	新規継続
		管理手順化	平田	3月	◎	見直し
		SDS掲示・管理	平田	3月	◎	見直し
		緊急事態想定・手順化	平田	9月	◎	訓練継続
配慮環境物	受託廃棄物のリサイクル	前処理と分別（一次破碎・分別）	渡辺	発生時	◎	発生時
献貢地域	地域環境保全活動	植樹活動・清掃活動	平田	11月5月6月	◎	継続

◎実施済 ○計画通り継続実施中 ○今後実施 ●未実施

【2024年度の評価】

運用初年度の取組は、計画した施策は、初めて取組する内容が多かったが、予定通りに取り組み推進が出来た。次年度は、より効果が発揮できる取組をイメージしながら推進をしていきたいと思ひます。また、全員活動になるように計画していきたいと思ひます。

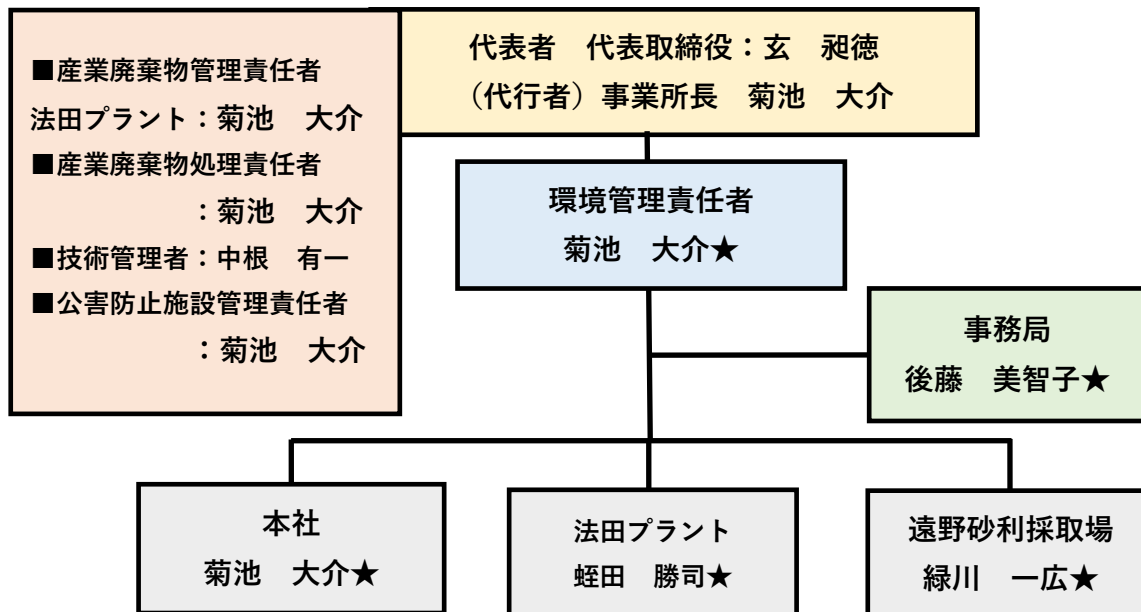
実施体制

★印はEA21推進委員会メンバー

作成 2024年8月31日

改定 2026年6月22日

玄 昶徳



	役割・責任・権限
代表者 (代行者：代表者不在時に対応する)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営の実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 経営における課題とチャンスの整理 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 実施体制を構築し環境管理責任者を任命 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 環境経営レポートの承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理及びEA21推進委員会 委員長 - 環境関連法規等の取りまとめ表及び順守評価の承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく順守評価の実施 - 想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 訓練の企画・実施
EA21推進委員会	環境経営目標、環境経営計画及びその進捗確認や課題について審議
事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成、最新版管理及び順守評価の実施 - 環境経営活動の実績集計 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) - 訓練記録の作成
部門責任者	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

環境経営目標の実績・評価

承認	確認	作成
玄	平田	後藤

《2024年度》

2024年度			2024年度		
目標項目	2024年度目標	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量	374	t	374.2	373.2	○達成
電力使用量	133,783	kWh	133,783	127,038	○達成
ガソリン使用量	3,700	ℓ	3,700	4,828	×未達成
軽油使用量	116,145	ℓ	116,145	116,287	×未達成
灯油使用量	410	ℓ	410	239	○達成
廃棄物の削減	2.252	t	2.252	4.262	×未達成
一般廃棄物 ※1	データ無	t	データ取	—	—
産業廃棄物	2.252	t	2.252	4.262	×未達成
受託廃棄物リサイクル率	100	%	100	100	○達成
水使用量の削減	21.8	m³	22	26	×未達成
化学物質の適正管理	—		SDS整備 リスクアセスメント・適 正管理	SDS整備完	○達成
地域環境保全活動	2	回	2	2	○達成

※1. 一般廃棄物は、2024年度はデータ取り期間とし、2025年度より削減目標の管理とする。

《2024年度 環境負荷実績》

負荷項目	実績値	単位	CO2排出量 (t)		
二酸化炭素排出量	373.2	t	二酸化炭素合計	373.2	比率
電力使用量	127,038	kWh	電力	61.36	16.4%
ガソリン使用量	4,828	ℓ	ガソリン	11.20	3.0%
軽油使用量	116,287	ℓ	軽油	300.02	80.4%
灯油使用量	239	ℓ	灯油	0.60	0.2%
廃棄物排出量	4.544	t			
一般廃棄物	0.282	t			
産業廃棄物	4.262	t			
受託した産業廃棄物	13,659	t			
受託廃棄物リサイクル率	100	%			
水使用量の削減	26	m³			
化学物質の使用量	0.0	t			

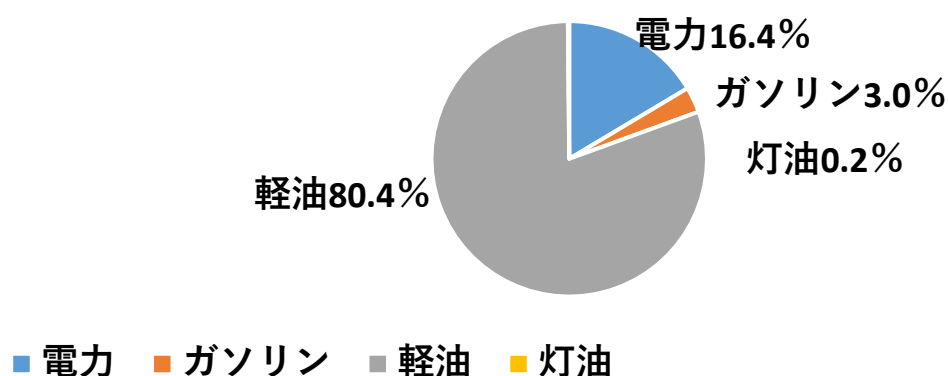
※電力の二酸化炭素排出係数は、令和4年度東北電力（株）の調整後排出係数
0.483kg-CO2/kWhを使用。

《二酸化炭素排出状況》

2024年度の二酸化炭素排出量は、約383.2トンでした。その中で軽油は、80.4%を占めており、二酸化炭素排出削減は、軽油の削減が必要となっております。

電力はプラントで使用し16.4%、ガソリンは社用車燃料で3.0%、灯油は0.2%でした。

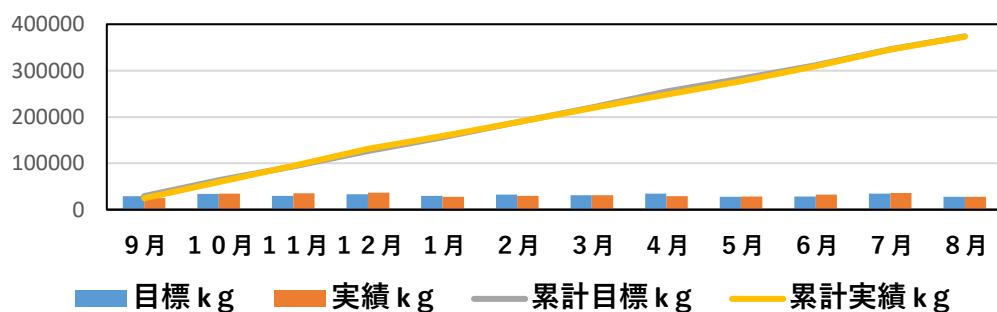
二酸化炭素排出比率



《二酸化炭素排出量》

二酸化炭素排出量は、エネルギーの電力、軽油、ガソリン、灯油の合計で、目標を達成しました。

二酸化炭素排出量



【結果】

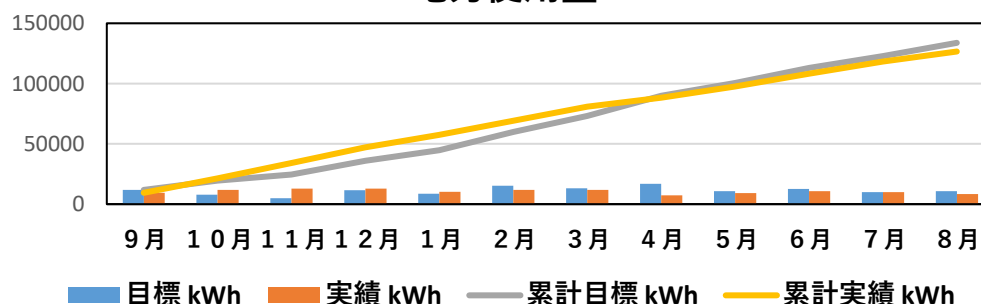
達成



《電力使用量》

電力は、上半期は累計で目標オーバーを推移しましたが、砂の洗浄や、受託廃棄物の破碎、リサイクルが増えた為でした。年間では目標を達成しました。

電力使用量



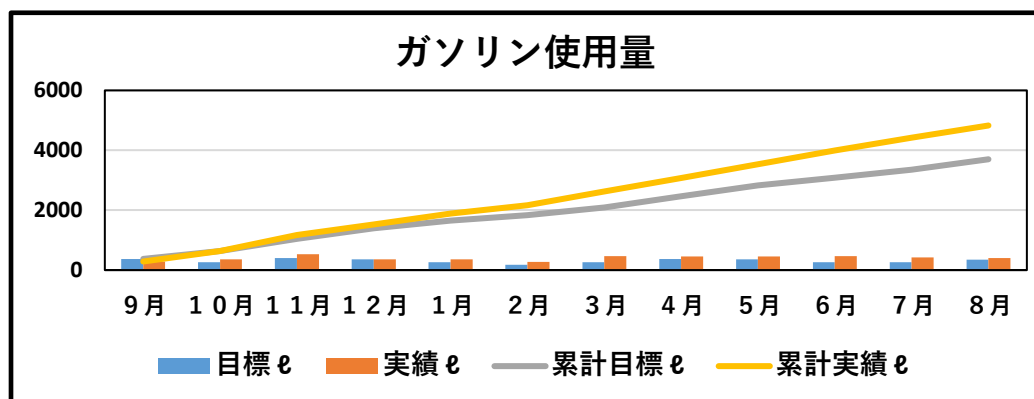
【結果】

達成

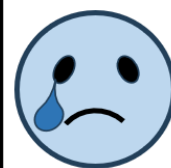


《ガソリン使用量》

ガソリンの使用は、軽トラックを含む社用車4台で使用する燃料です。その内2台はHV車です。1台は8月にHV車へ更新を行いました。今後は、エコドライブやアイドリングストップ、中長期的にはHV車及びBEV車への更新を進める必要があります。

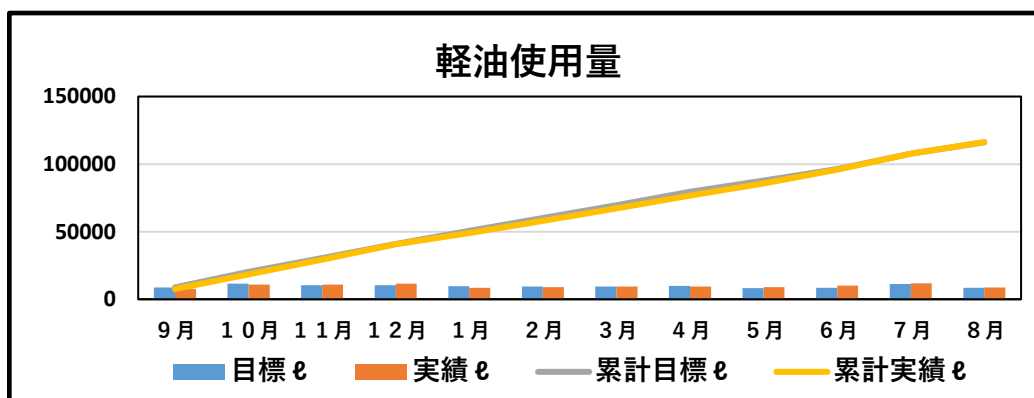


【結果】

未達成

《軽油使用量》

軽油は、バックホーやホイールローダーの燃料として使用しております。事業場全体のエネルギーの約80%を占めますので、省エネルギーのポイントとなっております。エコドライブについての教育を行い、前年よりは削減出来ましたが、未達成でした。

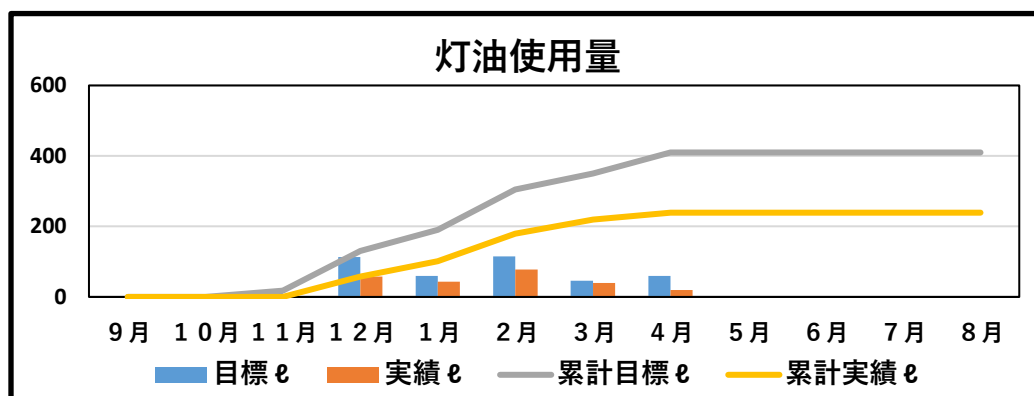


【結果】

未達成

《灯油使用量》

灯油の使用は、本社での冬期の暖房用燃料です。家庭用エアコンとの併用で、使用方法を見直して、使用量を大幅に削減し、目標を達成しました。



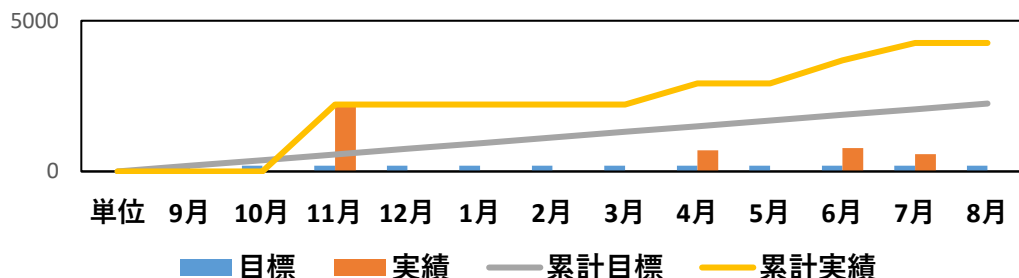
【結果】

達成

《廃棄物排出量》

廃棄物排出量では、過去から溜まっていた廃プラ（重機のタイヤなど）を一斉に排出したために、目標はオーバーしました。今後は、定常の排出となる予定です。

廃棄物排出量



【結果】

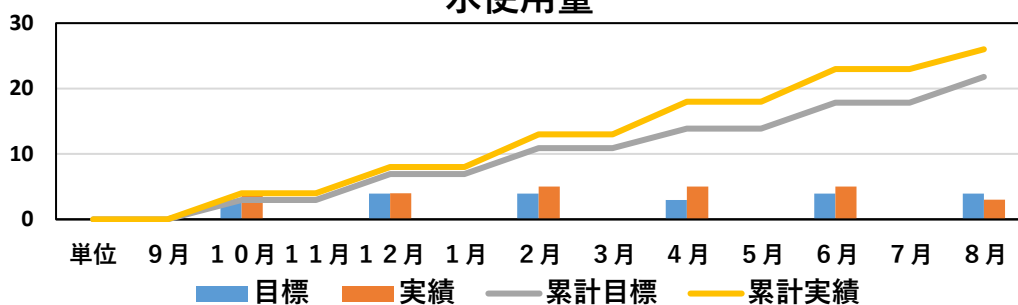
未達成



《水使用量》

水は、本社で生活用水として使用しております。節水ステッカーの貼り付けや啓発を行いました、人員が増えた為、使用量が増え、未達成となりました。

水使用量



【結果】

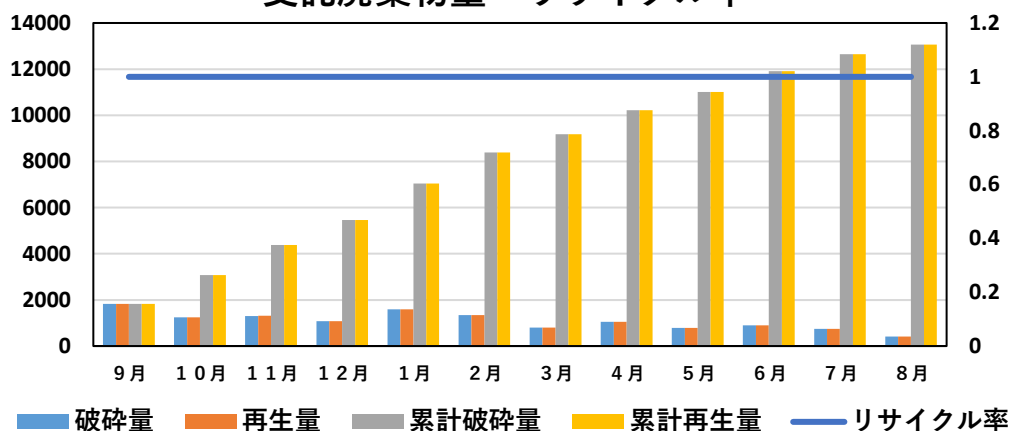
未達成



《受託廃棄物量・リサイクル率》

受託廃棄物として、コンクリート屑やアスファルト屑を受け入れ、金属屑の選別を行い、原則全量をリサイクルしております。

受託廃棄物量・リサイクル率



【結果】

達成



《地域環境保全活動》

11月19日及び6月12日には、地域の清掃活動を行いました。詳細は、取り組み報告（P17）に掲載しました。

環境関連法規などの順守状況

当社の環境関連法的要求事項は下記の通りですが、順守評価の結果、法規制及びその他の要求事項につきまして、順守を確認致しました。

○は順守が確認できた項目

対象法規名	主な要求事項	順守状況
廃棄物処理法（排出）	保管基準の順守、運搬・処理業者との委託契約、マニフェスト発行・保管・報告	○
廃棄物処理法（受託）	運搬・処分業許可、処理責任者設置、処理施設許可、運搬時の表示	○
いわき市産業廃棄物処理指導要綱	産業廃棄物管理責任者の設置、帳簿の備え 掲示板設置	○
騒音規制法	破碎機の届出、騒音規制基準の順守	○
福島県生活環境の保全に関する条例	水洗分別施設の届出・排水基準（上乘せ）の順守	○
福島県振動防止対策指針	市街化調整区域の為対象外	非該当
水質汚濁防止法	水洗分別施設の届出、排水基準順守、油流出事故時の届出及び処置	○
大気汚染防止法	土石堆積場の届出、飛散防止	○
下水道法	使用時の届出、維持管理、水質検査	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の保有は無し	非該当
いわき市火災予防条例	指定数量の1/5以上の保有は無し	非該当
高圧ガス保安法	技術基準（転倒防止）の順守	○
家電リサイクル法	長期使用による排出抑制、4品目のリサイクル料金を支払い、指定引き取り場所へ運搬	排出なし
自動車リサイクル法	使用済車両の引渡し、再資源化料金の預託	○
いわき市環境基本条例	環境の保全と創造に関する施策に協力	○
いわき市公害防止条例	汚水、廃棄物等の処理等公害を防止 【規則】公害防止施設管理責任者の選任	○

違反、訴訟などの有無

2025年10月現在、社内で確認の結果、環境関連法規の違反、関係当局からの違反等の指摘、訴訟及び近隣からの苦情はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21は2024年9月から運用を開始し、1年が経過したが、初めての認証登録期間であり、まずは実施事項を理解し、取り組みが全員活動として定着できるようにする為の視点で、見直しを行いました。

項目	評価結果	指示事項
前回の指示事項対応	・ 前は3カ月経過での見直しでした。	・ 全員活動にすること
環境経営方針	・ 関係者への周知は、教育、掲示、個人カードにて実施出来た。	【変更の要否】 ・ 変更は無い
環境経営目標	・ 二酸化炭素排出量、電力使用量、ガソリン使用量、軽油使用量、灯油使用量、廃棄物の削減、水使用量の削減、受託廃棄物リサイクル率、化学物質適正管理、地域環境保全活動の目標を掲げたが、未達成は、ガソリン使用量、軽油使用量、産業廃棄物排出量、水使用量であった。是正処置を行ったが、2025年度目標で、水以外変更は無い。 ・ 関係者への周知は、教育、掲示、個人カードにて実施出来た。	【変更の要否】 ・ 環境経営目標の内、本社は人員増になるので、水の使用量見直しを行う。一般廃棄物はデータが揃ったので、管理対象にする。
環境経営計画	・ 計画は予定通りに進捗し、役割を持った実施責任者の推進状況と課題を共有化出来ている。	【変更の要否】 ・ 変更は無い
実施体制	・ EA21構築と認証登録が出来たが、環境管理責任者が交代するので、引継ぎを円滑に願います。	【変更の要否】 ・ 環境管理責任者交代
マネジメントシステム	・ EA21構築後まだ1年なので、手順等の問題点が出てくればシステムの改善を行う。	—
順守状況	・ 構築段階で変更届出に課題があったが、行政に相談・対応し順守が出来ている。法規制などの要求事項一覧はあるので、年間を通した順守管理を推進中である。	代表者による見直し前に評価することになっており、順守を継続すること。
苦情 事故 緊急事態	・ 苦情は無かった。 ・ 環境上の緊急事態の想定は出来て、手順化は済で、初めて法田プラントで緊急対応訓練実施済。	訓練での気づき点は、手順に反映し、精度を上げること。
その他	・ 地域の清掃活動を初めて計画した。地域環境保全活動の継続を計画している。	毎年出来るように計画をして頂きたい。
【総合コメント】 ・ エコアクション21の構築及び運用はスタートしたばかりであり、今後の運用で変更が必要なことがあれば、迅速に改善をし、経営に資するマネジメントにして行きたいので、ひとりひとりが自分の役割を認識し、全員で取り組んで頂きたい。		

見直し日 2025年10月2日

株式会社 中根砂利店

代表取締役 玄 昶徳

今までの取組内容

株式会社中根砂利店は、EA21認証取得に向けて2024年度よりEMSにて環境取り組みをスタートしましたが、それ以前から取り組みを行ってまいりましたので、その一部を含めてご紹介いたします。

(1) 法田プラントでは、洗砂の作成するために、山砂を水洗式分別機にて砂を洗っております。

その時には、濁り水が発生しますが、この水をシックナー（ヘドラ）にて沈降分離すると共に、フィルタープレスによって、水と粘土を分離し、清澄水を一旦ため池に貯留し、その後公共用水域（鮫川）排出しております。



シックナー（沈降分離装置）



フィルタープレス

(2) 2024年8月には、軽トラックを含む社用車4台中2台目の商用車をガソリン車からハイブリット車へ更新と増設を行い、ガソリンの燃費向上を行いました。



更新した商用車（HV2号機）



HV1号機

今までの取組内容

(3) 緊急事態を想定し、火災発生時の消火と避難訓練を行いました。



消火器の取扱説明



消火訓練の様子

(4) 緊急事態を想定し、油漏洩対応訓練を行いました。



訓練基本事項説明の様子



バックホーを使用し、外部流出防止

(5) 当社では、地域環境保全活動として、植林活動や側溝の泥上げなどの清掃活動を行っております。最近は、豪雨により、被害が発生することから、U字溝に堆積している泥や落ち葉などを上げて、水の流れが阻害されないようにしております。



清掃前のU字溝



清掃後のU字溝



清掃の様子